

インターネット上の書き込みなどに関する相談窓口

解決策について相談したい	どうしたらよいか分からない	迅速な助言 違法・有害情報相談センター（総務省） www.ihaho.jp	
	ネット上の書き込み・画像を削除したい	削除要請・助言 人権相談（法務省） www.jinken.go.jp [TEL] 0570-003-110	
		プロバイダへの連絡 誹謗中傷ホットライン（セーフティーインターネット協会） www.saferinternet.or.jp/bullying/	
	書き込んだ相手に損害賠償を求めたい	法的トラブル解決のための[総合案内所] 法テラス www.houterasu.or.jp [TEL] 0570-078374	
	悩みや不安について話をしたい	心のSOS まもろうよこころ（厚生労働省） www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro	

沖縄県では、「沖縄県差別のない社会づくり条例」第8条に基づき、インターネットの適切な利用に資する教育及び啓発を行っています。

（インターネット上の不当な差別的言動に関する施策）

第8条 県は、インターネット上の不当な差別的言動の解消を図るため、インターネットの適切な利用に関する教育及び啓発を行うとともに、インターネット上の不当な差別的言動その他の誹謗中傷に関する相談体制の整備その他の必要な施策を講ずるものとする。

不当な差別や人権に関する相談 [沖縄県]

沖縄県人権相談窓口

■毎週月・水・金（祝祭日除く）
10:00～12:00 / 13:00～15:00

TEL 098-863-9281 ■[mail] jinken-soudan@pref.okinawa.lg.jp



沖縄県HP

沖縄県 こども未来部 女性力・ダイバーシティ推進課
TEL 098-866-2500 FAX 098-866-2589



条例特設HP

🔍 沖縄県差別のない社会づくり条例 検索

インターネットを正しく利用するために!

インターネットは便利で快適である一方、さまざまな危険性があるため、インターネットの特性などをしっかり理解する必要があります。



沖縄県は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

インターネットを正しく利用していますか？

私たちの毎日の生活に欠かすことができないインターネット。インターネットを正しく利用するためには「人間」、「情報」、「インターネット」の3つの特性をしっかりと理解する必要があります。

1 人間の特性



人間は偏見や先入観によって、物事を自分の見たいように見るという特性があります。人それぞれ価値観はさまざまです。ある人にとっては嬉しいと思うことでも、他の人にとっては嫌と感じることもあります。他の人の価値観や人権を無視した言動や行動は、人を深く傷つけ、死に追いやるほど追いつめてしまうこともあります。



自分が絶対に正しいと思い込まずに、そういうときこそ相手の考え方を尊重し、受け止める心のゆとりを持つことが大事です。

2 情報の特性

- 情報は発信者の視点で切り取られたものであり、あらゆる事柄について**正確に伝えることは不可能です。**
- 伝え聞いた情報は、直接見聞きした情報より**正確性と信頼性が低くなります。**
- 情報を受け取る人の**立場・経験などによって受け取り方もさまざま**です。



伝える側も受け取る側も、このような情報の特性を十分に理解して、インターネット上での情報を慎重に扱うことが大事です。

3 インターネットの特性



自分の顔や名前を知られることなく発言できるため、気軽な気持ちで書き込みをすることができます。しかし、**発信者を特定できる場合もあり、発信内容には責任を持つ必要があります。**★リポストなどで他人の投稿を引用する場合も同様です。



一度行った書き込みを完全に削除することは難しくなります。誹謗中傷や、他人に知られたくない情報を拡散する行為などは、書き込まれた人の**尊厳**を深く傷つけます。その被害を回復することは困難です。



写真や動画に残っている**わずかな情報から個人が特定される危険性**があるため、無断で写真や動画、個人情報を投稿するとプライバシー権の侵害に該当することもあります。



ニセ情報、誤情報、悪意ある情報が氾濫しており、さまざまな危険性があります。

- **ニセ情報** (ディスインフォメーション)
 - 意図的/意識的に作られたウソ
 - 虚偽の情報
- **誤情報** (ミスインフォメーション)
 - 勘違い/誤解により拡散した間違い情報
- **悪意ある情報** (マルインフォメーション)
 - 情報自体は正しいが、誰か(何か)を攻撃したり誤解させる狙いのある情報



不確かな情報はもちろんのこと、正しい情報に見えても、相手を傷つけることにならないか、立ち止まって考えることが大事です。